



農業に関心の高い学生や社会人等が多数来場 「新・農業人フェア」で群馬県農業をPR！

新・農業人フェア

- 期日：2月10日(土)
- 場所：池袋サンシャインシティ ワールドインポートマートビル4F 展示ホールA-1～3
- 主催：(株)リクルートジョブズ
- 後援：農林水産省、厚生労働省
- 内容：農業に関する就農支援や相談、各種セミナー等

全国から特色のある農業を紹介！

新規就農者を増やすことを目的とし、自治体や就農支援機関などが出展する「新・農業人フェア」が開催されました。全国から254団体(自治体・企業・団体など)が出展し、来場者数は1,006人で、農業に関心の高い来場者に直接、PR・情報発信・相談活動が行われました。

就農支援ブースは、全国から地方自治体等171団体の出展があり、群馬県からは「群馬県新規就農相談センター」(県農業構造政策課、農業会議、農業公社)、「群馬県畜産協会」(畜産協会、県畜産課)、「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」、「上野村」、「くらぶち草の会」の5団体が出展しました。

求人募集ブースは、全国の農業法人等から49団体が出展しており、群馬県からは「グリーンリーフ(株)・(株)野菜くらぶ」、「(株)サイエンズ」、「たけうち園芸」の昭和村にある3団体が出展していました。

また、「セミナーコーナー」では初心者のための農業講座等の3課題とパネルディスカッションが行われ、多数の熱心な来場者が聴講していました。

群馬県から5団体が群馬県農業を紹介！

「群馬県新規就農相談センター」は、豊富な水資源や温暖な気候、高地が標高10～1,400mに分布して、大消費地に近い等の特徴を、「群馬県畜産協会」は、生乳生産量全国4位の酪農をはじめ、交雑種を中心に黒毛和牛などの肉用牛の生産や、多種の銘柄豚を有する養豚生産など全国有数の畜産県であることをPRしました。

「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」は全国有数のキュウリ産地であること、「くらぶち草の会」はIターンの新規就農者が半数を占める農業に頼らない有機農業を志す生産者団体であること、「上野村」は移住者が人口の2割を占め移住・定住支援策により生活面からサポートしていること等をPRしました。

群馬県5団体の相談件数は62件あり、来場者は熱心に質問や相談を行っていました。



群馬県新規就農相談センターブース



群馬県畜産協会ブース



市町村ブース (左：邑楽館林、中：くらぶち、右：上野村)



セミナーコーナー